

将来2校になる 中学校統合の見直しを

山田 門左工門議員

地区検討協議会の議論を尊重する
教育部長



問 学校規模適正化協議会では、中学校を南北2校しか残さない計画案が出されているが、見直す考えはないのか。

答 今後の児童・生徒の減少の推移が予測を大きく下回る状況や、施設の老朽化が進んでいる事など深刻な状況である。

この基本計画協議会案は十分に検討された提案と受け止めている。今後は各地区検討協議会での議論を十分に尊重し、基

本計画の策定に向け取り組んでいく。

問 小中学校規模適正配置等検証委員会から、これまで各種協議会が開催されているが、5人の教育委員は全く関与していない。どうしているのか。

答 教育委員が、基本方針や基本計画の重要事項を判断・決定するに当たって、各種協議会の状況を逐次報告しており、直接

関わる必要がないものと考えている。

**防災道路の整備は
どうなっているか**

問 地域防災計画における緊急輸送道路としての補完道路の整備状況は、どうなっているのか。

答 緊急輸送道路は、避難所等への物資供給等の緊急車両の通行を確保するための重要な道路。その補完道路として36路線を指定し、車両の通行に支障のない道路に整備している。



▲統合が検討されている立田中学校

問 立田大橋の東側にある立田町交差点から八輪小学校に延びる、農免道路である市道2号線は、途中までしか歩道整備されていないのは何故か。

答 合併前に立田村内は、農道として整備し、その後立田村により片側歩道が設置された。八開村

地内は、県営ほ場整備事業として整備されたが、歩道は設置されなかった。

問 市道2号線に道路幅が狭いエリアがある。整備する計画は。

答 道路の拡幅は考えていないが、舗装が必要な区間は、国の交付金を活用し整備を行う予定。

その他の質問

●観光協会を遊休施設に移転しては